

あべともこニュース



無駄遣いせず、大事な予算を有効に！

◆どうなる103万。r130万の壁
昨今の報道で話題となっている「103万円の壁」問題。103万を超えると所得税が、130万を超えると社会保険料の負担が増え、パートなどで働く方はこれまで働き方を制限せざるを得ないと言われてきました。

総選挙直後、国民民主党がこの103万を178万円に引き上げるべきと掲げましたが、税収が7.8兆円減少するという試算も出ており、自治体からは不安の声が上がっています。

他方、立憲民主党は、13日に「130万円の壁」等を給付で埋める「就労支援給付制度の導入に関する法律案」を衆議院に再提出。年収130万円から200万円の間で社会保険料負担が収入に対して重くなる人達への保険料への支援を担保していきます。

ただでさえ物価高で生活が困難を極める中、税や社会保険料負担をどうするのかは11月28日からの臨時国会でよく議論していきます。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選9回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、環境委員会
原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

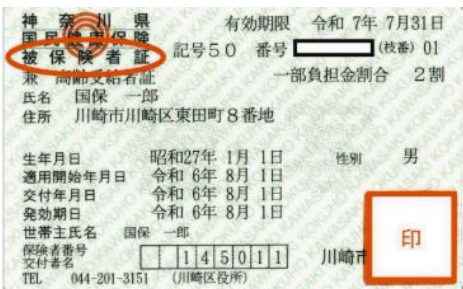
経済対策のポイント

- 住民税非課税世帯に1世帯あたり3万円を支給。子育て世帯には子ども1人あたり2万円を加算
- 2025年1～3月に電気・ガス料金の補助を再開、ガソリン補助金も継続
- 半導体とAI分野の支援で30年度までに補助金6兆円、金融支援4兆円以上
- 災害時の避難所環境の抜本的改善や学校体育館のエアコン整備に取り組む
- 「闇バイト」対策として警察の相談対応などを強化
- 「103万円の壁」引き上げ(*)
- ガソリン減税は自動車関係諸税全体の見直しを検討(*)

(注) *は税制改正の検討事項
図：日本経済新聞 11/22

◆実効性ある補正予算の審議を
22日、政府は新たな経済対策を決定。約39兆円の事業規模となる資金をどう使うかが問われます。今回は、①電気・ガス料金の補助を来年1月から3月まで行うこと②住民税の非課税世帯対象に給付金3万円の支給③能登半島地震の被災地のインフラ復旧や生活再建の支援策等が盛り込まれています。

裏付けとなる24年度補正予算案の一般会計の歳出規模は約13兆9000億円とする方向で調整されていますが、昨年を上回る規模に…。慎重に吟味して水ぶくれを防ぐ必要があります。



◆健康保険証を残せば済みます
12月2日から健康保険証の新規発行が終了。「マイナ保険証を持っていないけど受診できるでしょうか」という質問をお受けします。

大丈夫です。いま使っている健康保険証の有効期限が切れると保険者（市町村国保など）から、マイナ保険証を持っていない人には「資格確認書」（国保では有効期限5年）が一回は自動的に送られ、これが代わりになります。

先月、川崎市は市内約五百世帯に「資格確認書」（見本・上）を誤送付したと公表。送るはずだった「被保険者証」（見本・下）を比べてみると同じ体裁。市町村、医療機関に過重な負担をかけ、患者さんを不安にするマイナ保険証一本化。根本的に間違っています。

また、マイナ保険証の人には「資格確認のお知らせ」が送られますが、ダブルを想定した予備？こちらは2枚を持つことに。本当に不便です。